

## 安全安心なまちへ

交通死亡事故ゼロ

500日間を達成

7月12日をもって、市内での交通死亡事故ゼロが500日間続いたことを祝して、7月18日に県知事および県警本部長から岩沼市に「褒状」が伝達されました。

伝達式には、交通安全関係団体の方々や警察関係者が出席し、菊地市長は「皆さまの日々の努力がこういった結果に表れた。心より感謝を申し上げます。交通死亡事故ゼロ2年を目標に安全安心で住みよいまちにするために、今後も事故防止に努めたい」と話しました。



▲伝達式に参加された皆さん

## 小さな種が新たな特産物に

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）活用事業

7月17日、千年希望の丘相野釜公園などの耕作地で、ソバの種まきを行いました。震災の伝承にもつながる特産物にしようと、昨年からの試験栽培を始めました。

栽培するのは常陸秋そぼ<sup>ひたち</sup>という品種で、4力所ある耕作地に種をまいていきました。食品としてだけでなく、きれいな花を咲かせることも魅力のひとつです。白い花が丘の周りに広がり、被災地の景観を守ることにもつながっています。収穫は秋ごろを予定しています。



▼千年希望の丘相野釜公園1号丘西側の耕作地に種をまく様子

学校で集めたお金を被災地へ  
～大阪府北部地震の募金活動～

7月18日、市役所で玉浦小学校の児童たちが、大阪府北部を震源とする地震で被害にあった方々を支援するために集めた3万388円を百井崇教育長に手渡しました。

このお金は、校内のJRC委員会が中心となって募金活動を行って集めたもので、日本赤十字社を通じて被災地へ送られます。



▲玉小JRC委員会の南部ゆららさん（右）と吉田千夏さん（中央）

## 救急救命に貢献

感謝状贈呈

6月21日、消防本部で、感謝状贈呈が行われ、県塩釜保健所岩沼支所に勤務されている高田久美子さんが菅原敬消防長から感謝状を受け取りました。

高田さんは5月31日に勤務先の別室で男性が倒れたことを聞きつけ、AEDを手配しました。胸骨圧迫を50回実施した後、電気ショックを1回実施し、男性の体が動き始めたため、救急隊に引き継ぎました。



▲感謝状を受け取る高田さん(右)



▲贈呈の様子

## いわぬま市民交流プラザが10月1日に開館します

いわぬま市民交流プラザは、地域づくりや生きがいがづくりなどを目的とした、市民が主体となって行うさまざまな活動や地域の活性化に資する経済活動の拠点となる施設です。施設内には、市民活動サポートセンター、チャレンジショップ、交流スペースのほか、多目的室や交流室といった貸室もあります。

● **名称**／いわぬま市民交流プラザ  
**住所**／館下二丁目3番1号  
**開館時間**／9時～21時30分  
**休館日**／年末年始（12月28日～1月4日）  
 ●

貸室を利用するには？

| 使用料（冷暖房費込み） |                   |
|-------------|-------------------|
| 一般          | 市民活動サポートセンター登録団体等 |
| 1室1時間300円   | 1室1時間200円         |

利用したい日の3カ月前から受け付けます。

**貸室利用開始**／10月2日(火)～

※貸室の予約受け付けは下記のとおり行います。

- ・10月2日～12月27日に利用したい方：  
 下記説明会後～9月21日(金)

市民向け内覧会・説明会

近隣の方や利用希望者を対象に内覧会と説明会を行います。

申し込みは不要ですので、気軽にお越しください。

**日時**／9月18日(火)

内覧会：13時～ 説明会：14時～

現在の市民活動サポートセンターは、新施設開館に伴う準備のため、9月14日(金)に閉館となります。

**問**／さわやか市政推進課（☎内線642・644）

10月1日以降：いわぬま市民交流プラザ  
 (☎35-7205)



▲外観



▲多目的室1・2



▲交流室1・2



**市民バス「駅前館下」停留所  
 移設のお知らせ**

いわぬま市民交流プラザの開館に伴い、バス停留所が次のとおり移設されます。

**変更日**／10月1日(月)

**対象路線**／「駅東・中央循環線」、

「東西循環線」、「東西線」、「空

港線」、「玉浦循環線」の5路線

**変更内容**／「駅前館下」停留所の

移設（左図面のとおり）

※運行時間に変更はありません。

詳しくは、生活環境課まで問い

合わせください。

**問**／生活環境課（☎内線3333）